

水準	PA番号	プロセス属性
5	PA5.1	プロセス革新属性は、様々な実施結果のばらつきの共通原因を分析し、プロセスを定義し展開する革新的な進め方の調査により、プロセスの変更を特定する程度を示す尺度である

OC 番号	プロセス成果	プロセス実施のインジケータ				プロセス能力のインジケータ		関連プロセス
		番号	GP	作業生産物(入力)	作業生産物(出力)	プラクティス実施特性	資源/環境特性	
OC5.1.1	そのプロセスに関係するビジネスゴールを支援するプロセス改善の目的を定義している Process improvement objectives for the process are defined that support the relevant business goals.	GP5.1.1	事業戦略上重要な(relevant)ビジネスゴールを認識している	①事業がうまくいっているかどうかを評価するための判断材料となるもの ②組織の事業戦略	①重要なビジネスゴールを明記したもの	①組織の事業戦略から重要なビジネスゴールを識別している		O.1.1 組織に関するアライメント
		GP5.1.2	重要なビジネスゴールの達成を支援する、プロセス改善目標を定義している	①重要なビジネスゴールを明記したもの	①ビジネスゴールの中でプロセスで達成支援可能なゴールを特定したもの ②プロセス改善の目標を明記したもの	①GP5.1.1 で識別したビジネスゴールの中で、(人、技術、プロセスのうち)プロセスで達成を支援可能なゴールを特定している ②①で特定したゴールの達成を支援する、プロセス改善の目標を定義している		
OC5.1.2	プロセスの実施結果のばらつきの共通原因を特定するために適切なデータを分析している Appropriate data are analysed to identify common causes of variations in process performance.	GP5.1.3	プロセス実施の各測定項目に共通する変動の要因を特定するために、入力と出力の組み合わせを含むデータを適切に選択している	①プロセス実施の変動分の測定結果 ②変動分の原因調査報告書	①測定項目に共通の変動要因を特定するためのデータを明記したもの ②測定項目に共通の変動要因を特定するためのデータの妥当性を確認したことがわかるもの	①GP4.2.5 で各測定項目の変動分(測定値と目標値との差分)を収集している ②GP4.2.7 で変動分の共通原因を特定している。 ③①で収集したデータの中から、各測定項目に共通する変動の要因を特定するのに適したデータを選択している ④③で選択したデータがプロセスに共通の変動要因を特定するのに妥当であることを確認している		O.1.6 測定
		GP5.1.4	プロセス実施の各測定項目に共通する変動の要因を識別している	①測定項目に共通の変動要因を特定するためのデータを明記したもの	①共通の変動要因が明記されたもの	①GP5.1.3 で特定したデータを、適切な分析手法を用いて分析している ②①の結果から、プロセス実施の各測定項目に共通する変動の要因を識別している		
OC5.1.3	ベストプラクティス、及び革新の機会を特定するために適切なデータを分析している Appropriate data are analysed to identify opportunities for best practice and innovation.	GP5.1.5	ベストプラクティスおよび革新の機会を識別するために、プロセスの実施結果のデータを分析している	①共通の変動要因が明記されたもの	①共通の変動要因とプラクティスの因果関係および革新の機会を明記したもの	①GP5.1.4 で共通の変動要因を識別している。 ②①に基づいて「ベストプラクティス及び革新の機会」を識別している	①ベストプラクティス	O.1.6 測定

OC 番号	プロセス成果	プロセス実施のインジケータ				プロセス能力のインジケータ		関連プロセス
		番号	GP	作業生産物(入力)	作業生産物(出力)	プラクティス実施特性	資源/環境特性	
OC5.1.4	新しい技術及びプロセスの概念をもとに改善の機会を特定している Improvement opportunities derived from new technologies and process concept are identified.	GP5.1.6	新しい技術およびプロセスの概念を識別している	①技術およびプロセス革新に関する動機付け	①新しい技術およびプロセスの概念を明記したもの	①プロセス改善の機会に影響がある新しい技術を識別している ②プロセス改善の機会に影響がある新しいプロセスの概念を識別している	①EPG	
		GP5.1.7	プロセス改善の機会を識別している	①共通の変動要因とプラクティスの因果関係及び革新の機会を明記したもの ②新しい技術およびプロセスの概念を明記したもの	①改善の機会を明記したもの	①標準プロセスを実施する際に役割が使用する作業環境(端末、ライセンス、情報にアクセスするための設定など)を明確にしている	①EPG	
OC5.1.5	プロセス改善の目的を達成するために、(改善を)実現するための方策を確立している An implementation strategy is established to achieve the process improvement objectives.	GP5.1.8	現状の分析および新しい改善の機会を踏まえて、プロセス改善の実行戦略を確立している	①改善の機会を明記したもの	①プロセス改善の実行戦略を明記したもの	①下記を含むプロセス改善の実行戦略を立てている ープロセス改善の目的 ー目的の達成度合いの評価方法 ー改善の手順 ー役割の定義 ー作業生産物 ー体制・要員 ー予算		

水準	番号	プロセス属性
5	PA5.2	プロセス最適化属性は、関係するプロセス改善の目的の達成において、そのプロセスの定義、管理及び実施に対する変更が効果的な影響をもたらす程度を示す尺度である

OC 番号	プロセス成果	プロセス実施のインジケータ				プロセス能力のインジケータ		関連プロセス
		番号	GP	作業生産物(入力)	作業生産物(出力)	プラクティス実施特性	資源/環境特性	
OC5.2.1	提案されたすべての変更の影響を、定義されたプロセス及び標準プロセスの目的に対して評価している Impact of all proposed changes is assessed against the objectives of the defined process and standard process.	GP5.2.1	提案された全ての変更の影響を、定義されたプロセス及び標準プロセスの目的に対して評価している	①プロセス改善の実行戦略を明記したもの ②プロジェクトで定義したプロセス ③組織としての標準プロセス	①プロセス変更の影響を事前に評価したもの	①プロジェクトで標準プロセスをテラリングすることによって定義されたプロセス、および標準プロセスの目的に関し、プロセス変更の影響を評価している ②製品および/またはサービスの品質に関し、プロセス変更の影響を評価している		
OC5.2.2	(変更が及ぼす)プロセスの実行に対するあらゆる混乱を理解し、対処することを確実にするために、同意された変更の実施をすべて管理している Implementation of all agreed changes is managed to ensure that any disruption to the process performance is understood and acted upon.	GP5.2.2	プロセス変更の具体的な実施計画を策定している	①プロセス変更の影響を事前に評価したもの	①プロセスの変更を計画したことがわかるもの	①プロセス変更の実施に影響を及ぼす下記のような要素を特定している ー 変更するプロセス(プロジェクトで定義したプロセスと組織としての標準プロセスの両方) ー 経済的要素(生産性、効率など) ー 人的要素(熟練、リーダーシップ、仕事に対する満足、訓練など) ー 技術的要素(技術の専門能力、開発方法論など) ②プロセス変更のための役割と責任、権限を明確にし、体制を確立している ③プロセス変更の実現のために必要な資源を見積もり、確保している ④①から③の要素を考慮した、プロセス変更の実施計画を策定している		
		GP5.2.3	計画に従って、プロセス変更を実施している	①プロセスの変更を計画したことがわかるもの	①プロセス変更が実施計画に従って実施されたことがわかるもの	①GP5.2.2 で策定した実施計画に従って、プロセスの変更を実施している		
		GP5.2.4	プロセス変更の実施を管理している	①プロセスの変更を計画したことがわかるもの ②プロセス変更が実施計画に従って実施されたことがわかるもの	①プロセスを変更したことがわかるもの ②是正処置の記録 ③移行訓練記録	①変更の実施に関する記録を維持管理している ②必要な場合は、是正処置を行なっている ③プロセスの利用者に対し、変更後のプロセスに関する訓練を行なっている		

OC 番号	プロセス成果	プロセス実施のインジケータ				プロセス能力のインジケータ		関連プロセス
		番号	GP	作業生産物(入力)	作業生産物(出力)	プラクティス実施特性	資源/環境特性	
OC5.2.3	<p>結果が共通の原因、又は特別な原因によるかを判断するために、実績に基づくプロセス変更の有効性を、定義された製品の要件及びプロセスの目的に対して評価している</p> <p>Effectiveness of process change on the basis of actual performance is evaluated against the defined product requirements and process objectives to determine whether results are</p>	GP5.2.5	プロセス変更後の実績データを比較している	<p>①プロセス実施の測定結果</p> <p>②プロセス実施の変動分の測定結果</p>	<p>①プロセス変更の前後での実績データを比較しているもの</p> <p>②プロセス変更の効果の妥当性の確認をしたことがわかるもの</p>	<p>①変更後のプロセスに関し、変更前の実施データと比較可能なプロセス実施のデータを収集している</p> <p>②プロセス変更前後の実施データを比較する方法を確立している</p> <p>③②の方法により、プロセス変更前後での実施データを比較している</p> <p>④③の比較に基づき、プロセス変更による効果を測定している</p> <p>⑤プロセス変更による効果を、予測した効果に対して評価している</p>	①プロセスデータベース	O.1.6 測定
		GP5.2.6	定義された製品および/またはサービスの要求事項およびプロセスの目標からの逸脱が無いことを確認している	<p>①製品および/またはサービスの要求事項</p> <p>②プロセス変更の効果の妥当性の確認をしたことがわかるもの</p> <p>③プロセス実施の測定結果</p> <p>④プロセス実施の変動分の測定結果</p>	①プロセス変更の効果がプロセスの目標に対して逸脱していないことの確認をしたことがわかるもの	<p>①プロセス変更の有効性を、定義された製品および/またはサービスの要求事項に対して逸脱がないことを確認している</p> <p>②プロセス変更の有効性を、プロセスの目標に対して逸脱がないことを確認している</p>	①組織としての標準プロセス	
		GP5.2.7	プロセス変更と結果との間の因果関係に関する仮説が正しかったかどうかを判断している	<p>①プロセス変更の影響を事前に評価したもの</p> <p>②プロセス変更の効果がプロセスの目標に対して逸脱していないことの確認をしたことがわかるもの</p>	<p>①プロセス変更と結果の因果関係仮説を検証したもの</p> <p>②プロセス変更の結果の妥当性を確認したことがわかるもの</p>	①プロセス変更の結果が、予測していた要因によるものか、あるいは予測していなかった要因によるものかを識別している		